

経腔超音波検査を受けてみませんか

* 子宮頸がん検査と一緒に実施できます

経腔超音波（経腔エコー）検査とは

子宮がん検診で受ける「子宮頸がん細胞診」では、子宮頸がんについてのみ調べることができます。子宮頸がん以外の女性に多い子宮筋腫・卵巣のう腫などの子宮・卵巣の疾患を調べるには、経腔超音波検査が有用です。

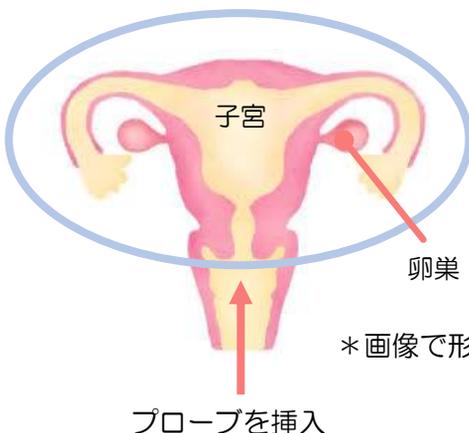
火・水・金曜日
限定



どんな検査？痛みはあるの？

プローブと呼ばれる細い棒を腔の中に入れます。プローブの先から出る超音波が子宮や卵巣に反射した画像をモニターに映して子宮や卵巣の様子を確かめます。子宮・卵巣の位置は個人によって若干異なるため、検査中はきれいに映る位置を見つけるためにプローブを様々な方向に動かすことがあります。検査時間には個人差はありますが短時間で終わります。挿入時に違和感を感じるがありますが、基本的に痛みや出血はほとんどありません。また、放射線を使う検査ではないため被曝の心配もない検査です。プローブを挿入する際には、専用のカバーをつけるため、衛生的にも安全に受けることができます。

ご希望の方は、スタッフまでおたずねください。



* 画像で形の異常を確認

子宮頸がん検査に追加される方

3,300 円

経腔超音波検査単独で受けられる方

4,400 円

社会医療法人財団天心堂
健診・健康増進センター